

重要特定課題評価シート（評価用）

重要特定課題	北上市「食のつながり」認証制度	
部課等名	農林部 農林企画課	
関連施策 (総合計画)	政策体系3-3-3	地産地消の推進
関連施策 (総合戦略)	施策(3-①)	企業集積を活かした産業間の連携による相乗効果の発揮と販路の拡大
	具体的な取組み	地域資源の掘り起こしと北上ブランド力の向上

■ 1. 目的適合性（公益性）

※チェックは○・△・×で記載

チェック項目	市担当	委員会
①総合計画に沿った取り組みをしているか。	○	
②国・県・民間との競合はないか。代替可能な類似の事業がないか。	○	
③取り組み廃止により市民は不利益を被るか。	○	

市担当部課の評価

評価の理由	☒ A. 適切	☐ B. 概ね適切	☐ C. 改善が必要	☐ D. 抜本的な改革が必要
	① 北上市「食のつながり」認証制度により、市内産農産物が購入できる産直などの販売店や市内産農産物を使用した料理が提供される飲食店、及び市内産農産物を原料とした加工商品が周知され、地産地消の拡大につながる。総合計画における「地産地消の推進」に沿った取り組みであり、長期効果として「農業をしたいと思うまち」づくりにつながっている。 この認証制度は、生産者のこだわりや思いが販売店・飲食店・加工業者を通して消費者までつながる取り組みを認証するものであり、ホームページやSNSによる情報発信やイベント開催をするなどして、魅力の発見や共感の機会を提供している。 ② ブランド制度で一般的に行われているのは、地域名と生産物名が結びついた名称（夕張メロン等）を付けブランド化していくことであるが、「食のつながり」認証制度は生産者と消費者がつながる取り組みを認証するものである。また、飲食店については「いわて地産地消レストラン認定」制度が県により実施されているが、生産者が見えた形とはなっていない。このことから、国・県・民間と競合することのない独自の施策となっている。 ③ 取り組みを廃止した場合、生産者がこだわりや思いを持って作った農産物がPRされる機会が減少し、生産者にとっては売上の減少につながり、また、消費者にとっては生産者を知り魅力ある商品を得る機会が減少するため、多くの市民は不利益を被る。			

政策評価委員会の評価

政策評価委員の意見	☐ A. 適切	☐ B. 概ね適切	☐ C. 改善が必要	☐ D. 抜本的な改革が必要

重要特定課題評価シート（評価用）

■ 2. 実施状況（計画性および効率性）

※チェックは○・△・×で記載

チェック項目	市担当	委員会
①計画的に取り組んでいるか。	○	
②効率的な取り組みとなっているか。	○	
③市民ニーズを適切に把握できているか。	○	
④他市町村に比較しての優位性はあるか。	○	

市担当部課の評価

評価の理由	☒ A. 適切	☐ B. 概ね適切	☐ C. 改善が必要	☐ D. 抜本的な改革が必要
	① 認証については年2回（8月、2月）申請を受付することとし、認証者の増加を図っている。ホームページやSNSでは随時最新情報を消費者等に提供している。また、H28年度は3回、H29年度は9回（予定）の生産者と消費者がつながるイベント（収穫体験、料理教室、飲食店での味わう会など）を開催している。			
	② 農業青年組織（4Hクラブ）会員とのミーティングを通じた認証候補者情報を得て、新たな認証者の掘り起しを効率的に実施している。また、ホームページ等の運営やイベント開催など、認証制度を展開していくにあたり、生産者と消費者に近い立場で中間支援ができるNPOの力を活用することで、生産者と連携したイベント実施や消費者のニーズにあった事業展開を実施している。			
	③ イベント等を開催することにより、参加者（市民）の感想や反応から、市内産の農産物等をもっと購入したいとか、もっと飲食をしたいなどという市民のニーズを把握している。			
	④ モノ（農産物）の認証ではない点が特徴であり、他市町村ではこのような取り組みがされておらず、認証制度により、生産者の顔、思い、こだわり、人柄までも伝わる形で消費者が農産物等を購入・飲食することができ、市内産農産物の消費拡大につながる点で優位性がある。			

政策評価委員会の評価

政策評価委員の意見	☐ A. 適切	☐ B. 概ね適切	☐ C. 改善が必要	☐ D. 抜本的な改革が必要

重要特定課題評価シート（評価用）

■ 3. 成果と課題

※チェックは○・△・×で記載

チェック項目		市担当	委員会
①目的に沿った十分な成果を上げているか。		○	
②課題を適切に把握できているか。		△	
市担当部課の評価			
評価の理由	☐ A. 適切 ☒ B. 概ね適切 ☐ C. 改善が必要 ☐ D. 抜本的な改革が必要		
	① 認証されることにより、こだわりのある農産物を作る生産者や、その農産物を使った料理を提供する飲食店など、地域資源の掘り起しにつながっている。また、消費者が市内産農産物の魅力発見や共感を持つ機会の増加につながっている。 ② 農業者や販売店・飲食店等の各種団体を通しての会員への周知不足のため、認証者数がまだ少ない（H28年度16件）。また、8月の初認証後で企画する時間が短かったため、イベント回数も少ない（H28年度3回）。このことから、認証制度の認知度が低いことが課題である。		
政策評価委員会の評価			
政策評価委員の意見	☐ A. 適切 ☐ B. 概ね適切 ☐ C. 改善が必要 ☐ D. 抜本的な改革が必要		

重要特定課題評価シート（評価用）

■ 4. 今後の対応

※チェックは○・△・×で記載

チェック項目		市担当	委員会
①市の今後の対応は適切な方向性にあるか。		○	
②成果を十分に上げることが見込めるか。		○	
③施策の目的のために必要な取り組みは網羅されているか。		○	
市担当部課の評価			
評価の理由	☐ A. 適切 ☒ B. 概ね適切 ☐ C. 改善が必要 ☐ D. 抜本的な改革が必要		
	① 認証制度の認知度向上と認証者の増加（平成32年度までに60件を目標）に向けたホームページやSNSによる情報発信やイベント開催は、市内産農産物の消費拡大につながっていくため適切な方向性にある。		
	② イベントの開催などにより消費者ニーズを把握したり、認証者同士が交流、連携することにより、新たな取り組みや商品開発が誘発され、生産者においては少量多品目の野菜作付面積増や、規格外品が料理に利用され収入を得るという経済効果につながり、消費者においては地元においしい農産物や料理があるということを知り、新たな食材を手軽に入手や飲食できるという成果が十分に見込まれる。		
	③ 現在は市内産農産物の地産地消に向けて、主に市民へ対しての情報発信やイベントを実施し、認証制度の認知度の向上と認証者の増加を推進している。さらに、将来的には市内だけではなく市外からの来訪者の消費を喚起する地産来消の取り組みやPRも必要である。		
政策評価委員会の評価			
政策評価委員の意見	☐ A. 適切 ☐ B. 概ね適切 ☐ C. 改善が必要 ☐ D. 抜本的な改革が必要		

重要特定課題評価シート（評価用）

■ 5. 総括意見

政策評価 委員の意見	
---------------	--

■ 6. その他特記事項・参考意見等

政策評価 委員の意見	
---------------	--